



第72回卒業証書授与式

3月2日(水)に第72回卒業証書授与式を行ないました。

入学した当初には想像できないコロナ禍の中学生時代を駆け抜けた卒業生たちです。

コロナ禍だったからこそ、折々にみんなで話し合っ最善の方法を導きだしながら過ごしてきました。卒業式当日もたくさんの思いが詰まった素晴らしい式となりました。

<卒業生 別れの言葉>

卒業生代表 藤ノ木 康祐

冬の寒さも和らぎ、柔らかな日差しに春の気配を感じられる季節となりました。本日は、私たち、166名の卒業生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。先ほどは、渡邊校長先生、PTA会長山崎さま、在校生代表から温かい餞と、力強い励ましの言葉を頂戴し、巣立つ寂しさを実感するとともに、身の引き締まる思いです。



思い起こせば、3年前、大きな制服に身を包み、これから始まる中学校生活に胸を弾ませながら、私たちはこの東新潟中学校に入学しました。新しい先生、新しい仲間、新しい教科書。4月には五頭でのカレー作り。土砂降りの中でしたが、新しい仲間との距離が縮まるきっかけになりました。5月からは部活動が始まり、先輩方からは技術だけでなく、挨拶や言葉遣いなど、中学生としてのあるべき姿を学びました。初めての行事の参加など、すべてが新鮮な1年でした。

2年生になると新学期早々臨時休校や分散登校で仲間に会えない時間が続きました。これからどうなってしまうのか、いろいろな不安が頭をよぎりました。久しぶりに仲間と会えたときは、この上ない喜びを感じました。仲間という存在の大切さ、有難さというものを強く実感した1年でした。

そして中学校生活最後となった今年、私たちは自分たちが置かれている状況の中で、最大限に楽しみ、精一杯の努力をして、後悔を作らないという特別な思いを持って日々の学校生活や行事に取りくんできました。

東風祭では、応援時のマスクの着用や大声を控えること、隊形移動ができないなどの制約がありました。そんなとき私たちが大切にしたころは、「話し合うこと」、「協力すること」です。リーダーが中心となって、振り付けや隊形を工夫したり、今年度導入されたiPadを活用したりと、よりよい方法を模索しました。当日は、素晴らしい青空のもと、今までにない私たちらしい東風祭を作り上げることができました。

10月には修学旅行がありました。延期や行き先変更など、一時は実施が危ぶまれただけに、実際にした光景は一層鮮やかに映りました。夜のゴンドラ、星空観察、サプライズの花火。大自然を前に、私たちはとても小さな存在であることを実感し、同じ星空を今この時に皆と一緒に見ることができるのは、何と幸せなことなのだろうと感じました。また、2日目のペンシ

ョンでの生活ではお互いの距離をより近くに感じることができました。友達と一緒にお風呂に入ったり、本音で語り合ったり。素晴らしい時間を一緒に過ごすことで、絆がより深まりました。

そして、東華祭。実行委員を始めとするリーダーを中心に、全員が一丸となって合唱練習に励みました。当日は想いのこもった合唱を響かせることができ、学年や学級の団結力が高まりました。

一日一日を大切に過ごす。友達との時間を忘れないものにする。そんな当たり前の日常。その日常こそが本当に大切なものだと思わされた今年。私たちの生徒会スローガン「日々是好日」もそんな思いが込められたものでした。お互いを大切に思う気持ち。東新中にずっと居たい。みんなと一緒に過ごしたい。そんな思いがあったからこそ、このスローガンを達成することができたのではないかと思います。

在校生の皆さん、部活動や生徒会活動、行事などで協力し合った日々は忘れません。何事も真剣に頑張ることができる皆さんなら、この学校をさらに進化させていくことができると確信しています。つらいことも仲間と共に乗り越えて、「力の東新」を合言葉に、大きく成長していきましょう。私たちは皆さんのことをずっと応援しています。

先生方、これまでたくさんのご指導、ありがとうございました。どんな時も私たちのことを第一に考え、支えてくださいました。いつも優しく励まし、時に厳しく叱ってくださった先生方は、私たちの強い味方です。これからもどうか私たちのことを見守ってください。

そして、15年間ずっとそばで支えてくれたお父さん、お母さん。一人で大きくなったような顔をしているけれど、本当は分かっています。お父さん、お母さんのおかげでここまで成長できたこと。普段は面と向かって言えないけど、今日は素直に言います。「いつもありがとう。」生意気な態度をとってしまうこともあったけど、家族が一番近くにいてくれたから、どんなことも頑張ることができました。これからも、夢や目標に向かって頑張るので、ずっと応援していきましょう。

一緒に過ごしてきた卒業生のみなさん。この3年間、嬉しいこと、つらいこと、楽しいこと、悲しいこと、色々なことがありました。私はこの166人に会えて本当に良かったです。しかし、今日卒業式を終えると私たちは離ればなれになります。それでも、この仲間ですごした日々の思い出や固く結ばれた絆が消えることは絶対にありません。私たちの絆は、一人一人がこの先どこで何をしようとも、いつまでも繋がっています。たくさんの思い出をくれたみんな、今まで本当にありがとう。いつかは必ず会える日が来ることを信じています。

これから私たちは、それぞれの夢や目標に向かって、一步一步自分の足で歩いていきます。今後大きな壁にぶつかったとしても、東新潟中学校ですごした思い出、学び、誇り、大切な仲間を糧に、力強く生きていきます。

最後になりましたが、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に改めて感謝申し上げますとともに、東新潟中学校の益々の御発展を心より祈念して、別れの言葉といたします。



<在校生 送る言葉>

在校生代表 藤本 古都
山田 侑一郎

窓から見える雪も溶け始め、肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ暖かな春が近づいてまいりました。今日このような佳き日に晴れてこの東新潟中学校を卒業される第72期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。



いま先輩方との思い出を振り返ってみると、いつも私たちの背中を優しく押して下さっていたことに改めて気づきます。私達が入学した日、初めての校舎、初めての友達、小学校との違いに戸惑う私たちを温かく迎えてくださいました。そのおかげで不安だった中学校での生活がたのしく希望に満ちたものになりました。先輩方は学校生活のあらゆる面で、常に私たちの見本となる頼もしい存在でこの東新潟中学校の元気の源でもありました。また、学校行事の東風祭では熱くどの学年にも負けない情熱を持ち、先輩方が盛り上がると全校の結束力が高められ学校全体が熱い闘志に包まれました。東華祭では歌詞の意味を私たちの心に直接届け問いかけてくれるような学年合唱やクラス合唱は私たちの心に響き、憧れを抱かさせてくれるすがたは、とてもかっこよかったです。

今ここにいる私たち二人は、3年生のみなさんからバトンを託された生徒会の副会長の役職を担います。生徒会活動に焦点を当てて、先輩方の残された足跡を振り返ってみたいと思います。

今年度の生徒会が目指したのは、「生徒1人1人の思い・行動で笑顔・絆・誇りを作り育むが、それぞれの委員会がSDGsの目標に関連した活動を行う力キャンペーンでした。働きがいに関連させた常任委員会の「ぐれみどあっぷ」やSDGsに関心をもってもらうためにカルタを作成した図書委員会、食品ロスに関連させた給食委員会の「drink up the milk」など、どれも工夫を凝らしたユニークな企画が沢山実施されました。まさに、全校生徒が繋がり、一人一人が誇りを持てる学校に近づいた瞬間でした。

先輩方のこの想いと築き上げてくれた伝統を、私たち在校生はしっかりと受け継ぐと共に、新たな「創造」を生み出してこの東新潟中学校をさらに活性化させます。

最後になりますが、卒業生の皆さんは4月からそれぞれの新しい道へ進まれます。より広い世界へはばたく今、大きな期待とその反面不安も感じていらっしゃることでしょう。そんな時はスクールポリシーである「力の東新」で友達や先生と笑い合った日々を思い出し、たくましく前に進み続けてください！

来る日も来る日も、希望に満ちた日々が続くことを心よりお祈りし送る言葉といたします。



1年間、東新潟中学校の教育活動を支えていただき誠に有り難うございました。

今後とも、温かいご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。

東新潟中ブログ

生徒の活躍を紹介中です。

是非ご覧ください。

(毎週金曜日に更新)

